

# 議員全員協議会次第

日 時：令和7年12月2日（火）

午前9時15分

場 所：取手市議会議場

## 1 開 会

## 2 報告事項

- (1) 取手庁舎整備に関する今後の進め方について
- (2) 取手市立取手グリーンスポーツセンター指定管理者の指定について
- (3) その他

## 3 その他の議題

## 4 閉 会

# 取手庁舎整備に関する今後の進め方について

## 取手庁舎の現状



取手庁舎の本庁舎は、昭和45年に、現在の議会棟とともに建設され、その後、庁舎の機能や規模の拡充が必要となり、本庁舎に3階と4階の増築、議会棟に執行部控室の増築、新庁舎の増築工事など、段階的な整備を経て、現在の庁舎の形となっています。

今まで、耐震補強工事や大規模改修、非常用発電設備や太陽光発電設備、照明のLED化などを進め、災害時への対応力強化や省エネ対策などに努めてきました。

## 取手庁舎のあるべき姿

一方で、DXの発展など社会情勢の変化への対応や、ワンストップ窓口の設置、バリアフリー化などの市民サービスの向上については、市民や議会から様々なご意見・提言などをいただいております。来庁者の皆さまが迷いなく目的の窓口へ進める配置や表示、ユニバーサルデザイン、ゆとりあるスペースなど、市民にとって、より快適で利便性の高い庁舎であることが求められています。

また、災害時の拠点となる庁舎の防災機能、省エネ化・再エネ活用といった環境性能など、市が取り組んでいくべき諸課題に対しても、現状よりさらに一步踏み込んだ対策として、庁舎の機能強化を検討していく段階に来ています。

## 取手庁舎のあり方の検討

公共施設等総合管理計画では、施設ごとに、「施設のあり方の検討(築年数に応じた維持管理等の方針の検討)」をすることとしています。取手庁舎は、本庁舎および議会棟が令和7年に建築後55年を迎えることから、それらの検討を実施しました(一体として利用しているため、建築後32年を迎える新庁舎を含めて庁舎全体として検討)。検討にあたり、庁舎は市の中心的施設であることから、全庁的に検討を行うため、課長級職員で「取手庁舎あり方検討ワーキングチーム(以下ワーキングチーム)」を設置し、現在の庁舎が抱える課題や、求められるニーズを整理し、今後の方向性を検討しました。ワーキングチームの報告を受け、戦略会議において取手庁舎の今後について検討を行いました。

## ワーキングチームにおける調査検討

### 取手庁舎が抱える機能的な課題とニーズ

- ①庁舎の老朽化
- ②庁舎空間
- ③バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- ④防災拠点機能
- ⑤行政のデジタル化
- ⑥職員の福利厚生・職場環境等
- ⑦環境への配慮
- ⑧議会棟を取り巻く課題

検討の結果、取手庁舎は、老朽化の進行、事務スペースの不足などの課題に加え、バリアフリー対応や、防災機能、デジタル化などについて構造的制約があることがわかりました。

市民サービスや、将来的な対応に影響を及ぼさないよう、対策を行っていく必要があります。

### 結果

課題を解決するためには、現庁舎の長寿命化の方向性だけでなく、建替えも選択に入れた慎重な検討が必要です。今回は、機能強化による市民サービス向上などの観点で検討をしましたが、今後、それぞれのスケジュール、工事実施時の機能維持やスペース確保、想定総事業費など、様々な観点を踏まえて検討していく必要があります。

## 取手庁舎のあり方検討結果(戦略会議協議結果)

ワーキングチームの報告を受け、戦略会議で協議を行った結果、取手庁舎の方針は以下のようになりました。

施設機能	建物運用期間	建物は標準耐用年数(令和12年度)まで必要な保全を行い、施設機能を存続する。標準耐用年数経過後の建替えなどを含めた将来的な検討は、主管課を中心
存続	標準耐用年数	に実施していく。

## 今後について

現在の取手庁舎は、老朽化が進行していることや、求められるニーズを十分に満足できていないことから、老朽化対策のみならず、市民サービスの向上に主軸を置いた検討を行いつつ、整備を進めていく必要があります。そのため、示された方向性をもとに、今後は、市民や議会の意見を伺いながら、取手庁舎をどのように整備していくかの検討を進めていきたいと考えています。

## 取手市立取手グリーンスポーツセンター指定管理者の指定について

### 1. 取手市立取手グリーンスポーツセンター指定管理候補者選定の経緯

取手市立取手グリーンスポーツセンターは、スポーツの振興、市民の健康増進と市民同士のつながりを図る拠点施設として平成2年4月に開館しました。

その後、平成18年度から指定管理者制度を導入し、第1期は（株）サンアメニティが指定管理者として実施し、第2期から現在第4期の指定管理者として「TAC・HBS・アクアライフグループ共同事業体」による管理運営が行われています。令和7年度末で指定管理に係る協定期間が満了となることから、令和8年度以降の管理運営を行う次期指定管理者を公募しました。

公募の結果、2団体から申請があり、厳正な審査を行った結果、「日本スポーツ振興協会グループ」を次期指定管理候補者として選定するに至りました。

### 2. 指定管理候補者の選定方法

取手市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第7条に基づき、「取手市公の施設指定管理者選定委員会」の意見を聴取したうえで、指定管理候補者を選定しました。

選定委員会による審査では、取手市立取手グリーンスポーツセンター指定管理者公募要項に基づき、応募のあった2団体から提出された申請書類及び応募者ヒアリングの内容を委員1名あたり200点満点で採点し、8名の委員の合計点数が最も高かった「日本スポーツ振興協会グループ」が優先交渉権者として推薦されました。

### 3. 選定スケジュール

日付	内容
7月30日	教育委員会からの諮問、第1回選定委員会（公募要項確定）
8月6日	公募要項公表
8月25日	現地見学会
8月27日	質疑受付締切
9月17日 ～9月21日	申請書類受付
10月9日	第2回選定委員会（応募者ヒアリング審査）
10月9日	教育委員会への答申

#### 4. 選定委員会委員名簿（取手市立取手グリーンスポーツセンター）

	氏 名	役 職
委員長	伊藤 哲	副市長
副委員長	廣瀬 昌也	取手市総合型地域スポーツクラブ代表理事
委員	加藤 信彦	税理士
委員	吉田 文彦	総務部長
委員	斎藤 嘉彦	政策推進部長
委員	田中 英樹	財政部長
委員	石塚 康英	教育長
委員	飯竹 永昌	教育部長

## 5. 選定委員会による採点結果

審査項目	配点	得 点	
		TAC HBS・SS ループ	日本スキー ツ振興協会 グループ
<b>1. 類似施設における実績と専門性</b>			
・類似施設におけるこれまでの実績と専門性	80	66	70
<b>2. 申請団体の理念等に関する事項</b>			
・団体の経営方針	160	124	130
・指定管理者の指定を申請した理由			
<b>3. 施設の管理運営を行うにあたっての経営方針等に関する事項</b>			
・施設管理の経営方針	80	60	66
<b>4. 施設の管理に関する事項</b>			
・職員の配置及び業務分担、勤務体制に関する計画	160	120	124
・管理経費に関すること			
<b>5. 施設の運営に関する事項</b>			
・利用者への対応等サービス向上に関する計画	480	335	388
・施設利用の向上に関する計画			
・運営経費に関すること			
・その他（地域との連携、他施設との連携等）			
<b>6. 情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項</b>			
・情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項	80	58	58
<b>7. 緊急時における対策に関する事項</b>			

・防犯及び防災の対応	160	128	118
・その他の緊急時の対応			
<b>8．自主事業実施計画に関する事項</b>			
・特色ある自主事業実施計画に関する事項	160	95	140
<b>9．収支計画の妥当性に関する事項</b>			
・収入計画	160	118	112
・支出計画			
<b>10．指定管理料について（指定期間中の合計）</b>	80	60	57
<b>合 計</b>	<b>1,600</b>	<b>1,164</b>	<b>1,263</b>

## 6. 指定管理候補者に対する選定委員会の評価概要

優先交渉権者として選定した「日本スポーツ振興協会グループ」は、審査項目全般にわたって相対的に高い評価を得ており、合計得点は 1,600 点中 1,263 点（約 79%）でした。

「日本スポーツ振興協会グループ」は、選定委員会において高い得点を獲得し、優れた実績と提案内容が評価されました。代表団体である日本スポーツ振興協会は、19 年以上にわたり全国 90 施設の管理運営を行ってきた豊富な実績とノウハウを有しており、茨城県内を中心に活動拠点を持つことから、地域に密着した運営が期待されます。

また、同グループの経営方針は、利潤追求ではなく、文化・スポーツを通じた「まちづくり」や「地域社会づくり」に貢献することを重視しており、その理念が取手市の地域振興に寄与するものと考えられます。

さらに、地域スポーツ振興や教育活動に関する多様な提案がありました。その提案の妥当性や実施の可能性についても専門的知見に基づいた説得力のある説明をされており、施設の魅力向上に向けた提案として、積極的な姿勢と評価されました。

以上により、「日本スポーツ振興協会グループ」は、他施設運営の経験を活かしつつ、さらに本施設を安定的に管理運営していくことができると見込まれることから、優先交渉権者として適当であるとの結論に至りました。

## 7. 指定管理候補者の概要

団体名	日本スポーツ振興協会グループ
代表構成員	特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会
住所	茨城県つくば市大角豆 1744 番地
設立	2000 年 6 月 15 日
構成員	株式会社日本スポーツ振興協会
指定管理実績・ 経営方針等	茨城県内を中心に 19 年以上全 90 施設に上る施設管理運営の実績とノウハウを有している。当団体はスポーツ施設の管理運営はもちろんのこと、生涯学習および社会教育施設の推進に役立つスキルを持って事業を行っている。また、一級建築士事務所登録をし、建築物・建築設備等の点検を自ら行うことができ、指定管理者として必要な管理の専門性も有している。

## 8. 指定管理候補者の提案概要

- ・指定管理料

令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	5 年間総額
179,574 千円	179,009 千円	179,838 千円	180,826 千円	181,716 千円	900,963 千円

- ・自主事業に関する提案の概要

別添のとおり

## ○スポーツ振興自主事業

(別添資料)

No.	事業名	施設	事業内容
1	子ども向け各種プールイベント	室内プール及び遊水プール	大型滑り台、浮島渡り、アクアチューブなど、様々なアトラクションを設置し子どもはもちろん保護者・大人の方も楽しめるイベントを開催します。
2	ナイトプールイベント	遊水プール	日没からプールエリア内の照明を落とし、「水中LEDライト」「光るビーチボール」「キャンドルライト」などでライトアップし、ムードと空間を演出します。
3	柔道整復師による 「パーソナルマッサージ」	ホール予定	柔道整復師の資格を有する当協会職員による「もみほぐし・マッサージ」サービスを実施します。
4	ピックルボール体験会	第1体育室または第2体育室	ピックルボールとは、日本でも競技人口が急増しているため実施します。
5	子育て支援事業 ～託児付きプログラム～	研修室または和室	①託児サービス付きプログラムの提供 ②乳幼児親子教室
6	ジュニアアスリートのための 「食育セミナー」	研修室	プロテニス選手権錦織圭選手のサポート経験もある当協会管理栄養士がセミナーを行います。
7	SUPを活用したエクササイズ・親子 体験プログラム	室内プール	親子でSUPを体験するイベントを開催予定です。
8	スポーツサークル事業 誰でも気軽にアクティブスポーツ	第1体育室	第1体育室のアイドルタイムを活用して、市民がいつでも、だれでも、スポーツ・レクリエーション活動を通じてスポーツサークル事業を開催いたします。
9	短期教室	プール、体育室、研修室等	年間3期間で実施される定期教室の間、開催されない期間において、市民の継続的な運動機会を提供します。

## ○野外

10	アウトドア ニュースポーツ体験イベント	アスレチック広場・森の広場	技術やルールが簡単で、誰でも気軽に楽しめる「モルック」「スラックライン」「ディスクゴルフ」などのスポーツイベントを開催します。
11	ランニング教室 ～目指せ！取手新春マラソン大会～	施設外周または第1体育施設	当協会所属の箱根駅伝出場者が指導します。

## ○レクリエーション・イベント事業（屋内）

12	元劇団四季プレーヤーが教える 「ミュージカルワークショップ」	第1体育室、 第2体育室または研修室	劇団四季に17年在籍した当協会職員により、ミュージカルから得られる「教育的価値」をコンセプトに、ミュージカルワークショップを開催します。
13	夏休み自習室開放事業	研修室	夏休みの数日間、地元児童生徒たちの自習の場として開放します。
14	護身術を身につけよう ～いざという時に身を守る防犯対策～	研修室	護身術を体験し、市民の防犯意識を高めます。
15	親子の水辺の安全教室	遊水プール	親子の水辺の安全教室を実施します。

16	地元農家や地域と連携した事業 ～地元特産物を使った商品化計画～	研修室	取手市はトマトの「銘柄推進産地」にも指定されており ハウス栽培によりトマトの生産が盛んに行われている。 トマトをはじめ地元の農家や地域関係者と連携した事業 「～地元特産物を使った商品化計画～」の事業を実施します。
17	オールEnglishプログラム	体育室、研修室	当協会の「ネイティブ」職員により、運動教室やレクリエーション活動などを「オールイングリッシュ」で実施します。
○レクリエーション・イベント事業（屋外）			
18	グリスピ『もりビンゴ』	アスレチック広場	野外活動「やまビンゴ」専用のマップを基に山林の中に設置された表示板を見つけ出しビンゴを完成させるものです。
19	グランピングで体験する 「快適じゃない、不便を楽しむキャンプ」	アスレティック広場・森の広場	1日数組限定のデイキャンプを実施します。快適じゃない状況でも方法次第で楽しくできる、防災教育を絡めたキャンプ体験を実施します。
20	自然を活用した 野外活動体験イベント	アスレティック広場・森の広場	アスレティッククラブや森の広場周辺の自然環境を活用した野外活動イベント、ネイチャーゲームや親子でテント張り体験、模擬宿泊体験などを予定です。
21	防災キャンプ ～災害時に自分と家族を守る方法を学ぼう～	アスレティック広場・森の広場	巨大地震などの災害がいつ起きてもふしぎではない状況において、災害時に自分と家族を守る方法を学び、市民の防災意識を醸成するイベントです。

○その他・物販事業

22	グリスピ"さくら"まつり	芝生広場、研修室	「住民の住民によるまつり」を開催します。
23	物販事業（売店設置・自動販売機） キッチンカーイベント・ポップアップストア	屋外、屋内	物品販売や大会に合わせて、地域で活動されているキッチンカーの事業主と連携し、「キッチンカーイベント」を開催します。
24	サービス向上事業 (レンタル・マッサージチェア)	受付にて貸出	手ぶらで気軽に施設をご利用いただけるようシーツ、スイミングキャップ、ラケット等のレンタルサービスを行います。